

THE STORY OF THE TOWER (プライスタワー)

NO.4

FRAK LLOYD WRIGHT

25.9.6



Google mapより



THE STORY OF TOWERの本より

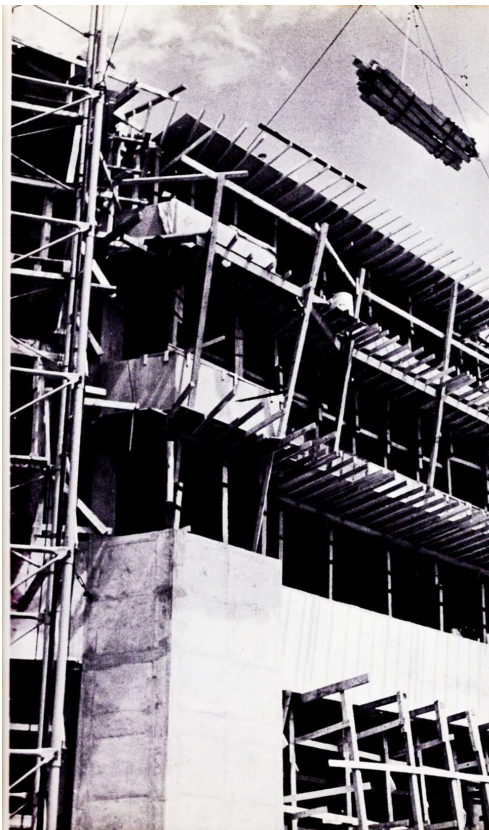
61 構造形成過程

62-63



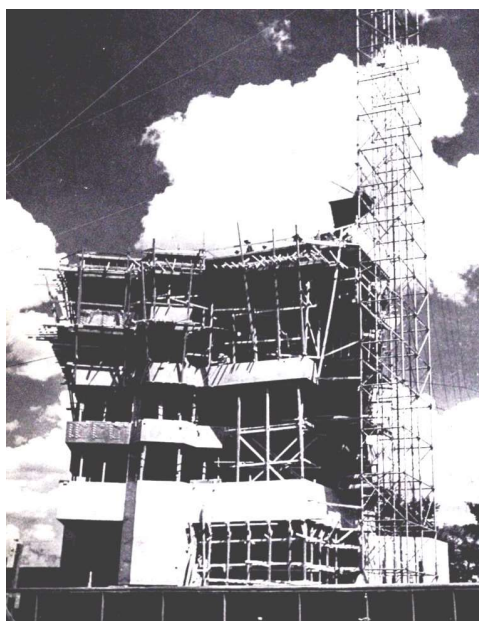
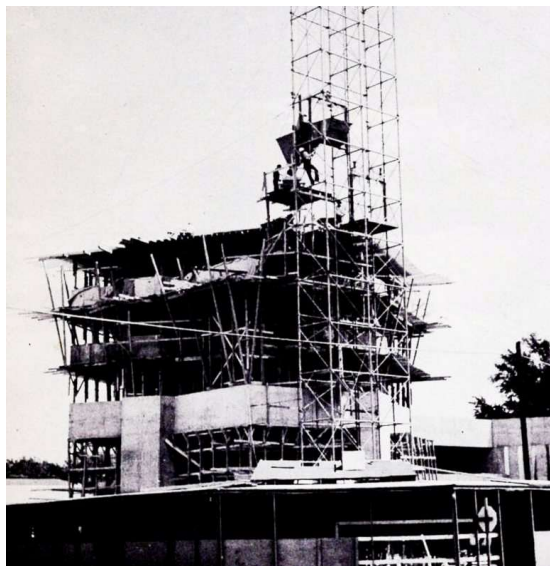
すでに形に曲げられた鉄筋が、すぐに使用できる状態になっている。この構造には、数トンもの鉄筋（そのほとんどは拡張鋼網）が使用された。それでも、この構造システムは、オフィスビルで最もよく使用される、石積みで囲まれた鉄骨ケージ構造の約半分の重さしかない。

建設中のライト氏のタワーを訪問した、スペイン出身の著名なエンジニア、エドゥアルド・トロハ氏（右）。ハロルド・プライス・ジュニア氏はホイストプラットフォームの左側にいる。タリ阿森・フェローシップのウェズリー・ピーターズ氏は左手前にいる。



ここでは、タワーの床スラブ3枚が打設されています。

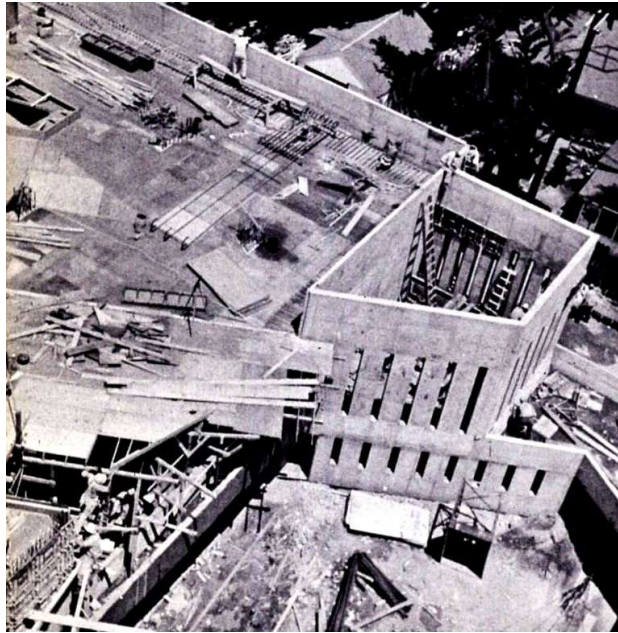
左の写真では、型枠用の支保工が建物の南東角、オフィス棟の6階レベルより上に持ち上げられています。



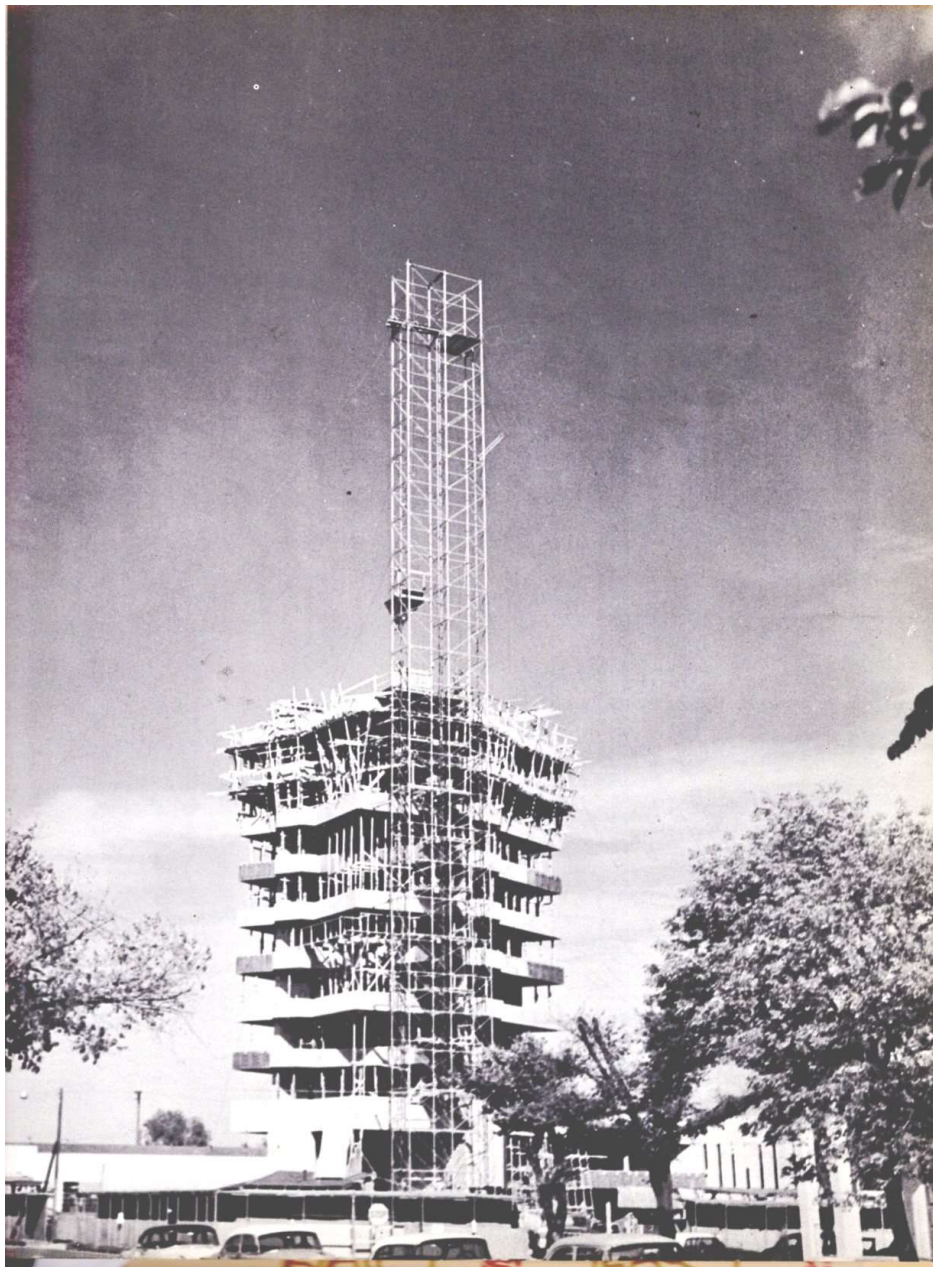
66-67 現在、作業員は8階にいます。手前にはカーポートがあり、その屋根には植栽が予定されています。南東からの眺めは、床スラブと、階段塔を形成する突出したコンクリート部分が絡み合っている様子を示しています。建築家ライトが鉄筋コンクリート構造を好んだのは、その高い強度対重量比だけでなく、その可塑性により、ここに写っている塔の一部に見られるような、絡み合った形状や浸透し合う空間を造形できるからです。

68

建物の南東の角を見下ろしています。スロット壁が空調設備を囲みます。反対側：南西からの眺めは、11階で進行中の作業を示しています。

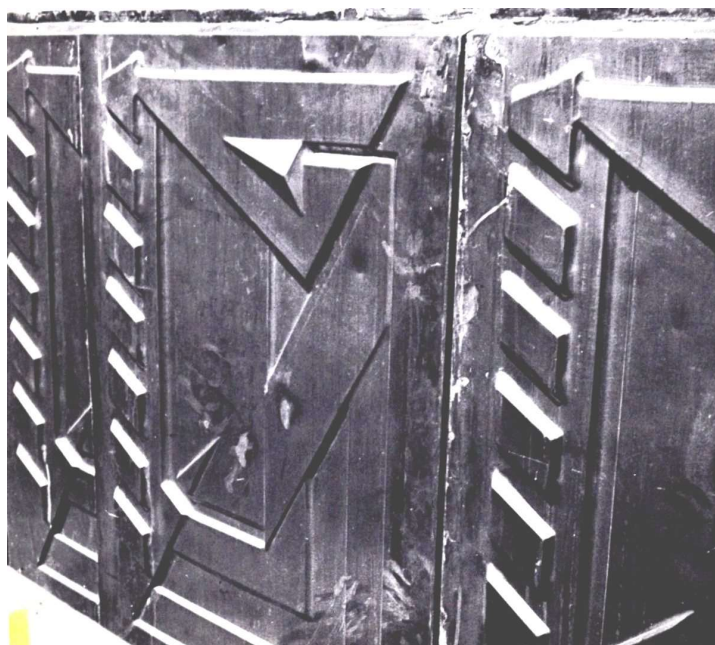


69



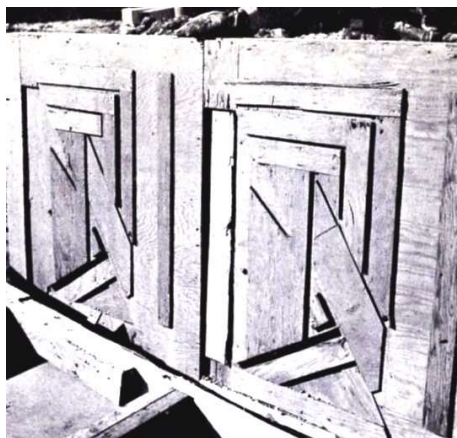
70

塔のパラペットは交互に銅板で覆われ、建築家がデザインした模様が刻印されています。コンクリートを流し込む前に型枠に銅板を組み込んだため、完成したパラペットと一体化した構造となっています。



71

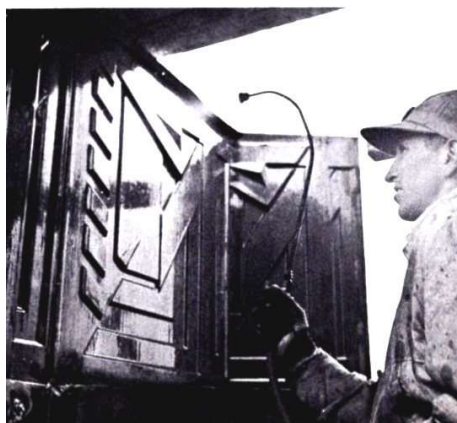
合板の型は、打ち抜かれた銅板の凹版です。コンクリートが硬化する間、繊細なレリーフデザインを損なわないように銅張りの仕上げ材が使用されていたため、これらの精密に設計された型が必要でした。



作業員は連結された銅板を所定の位置に取り付けました。パネルは銅製のクリートでコンクリートに固定されていました。

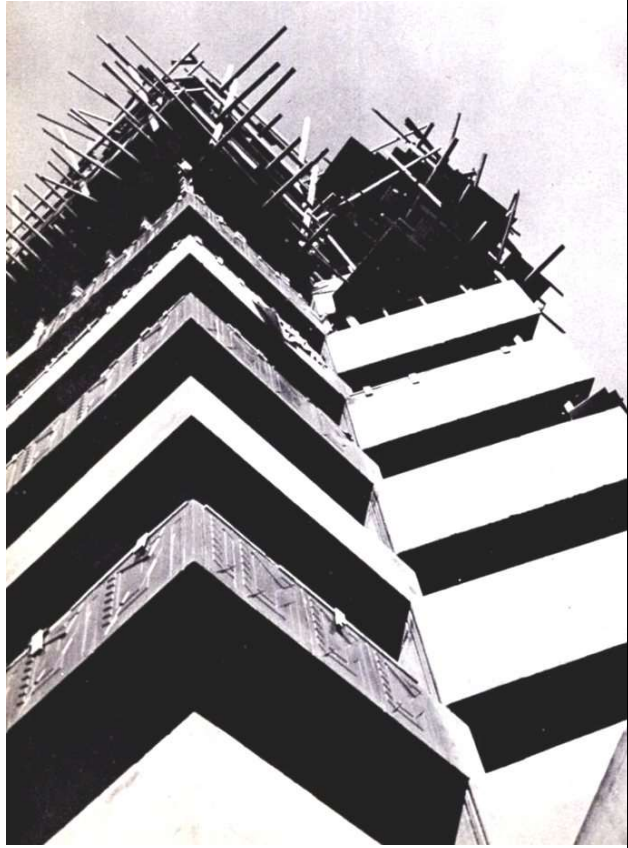


作業員は、硬化したコンクリートの欄干と一体となった銅の表面を清掃しています。銅はまた、通常は数年間の風化によってのみ得られる青緑色の緑青をすぐに生成するために化学処理されました。



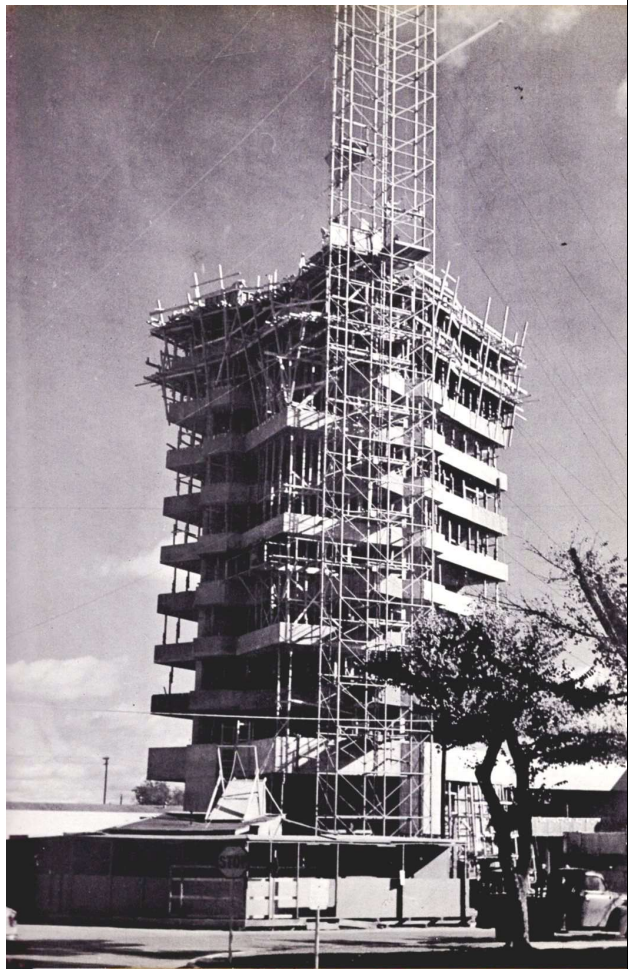
72

完成した下層階から型枠と足場が撤去され、滑らかなコンクリートと交互に並ぶパラペットの模様のある銅面の完全な効果が初めて確認できるようになりました。



73

しかし、出現しつつあるタワーの大部分は、まだ型枠と足場のネットワークに囲まれており、ほとんどの階の間には支保工がまだ設置されています。
現在、12階の建設が進行中です

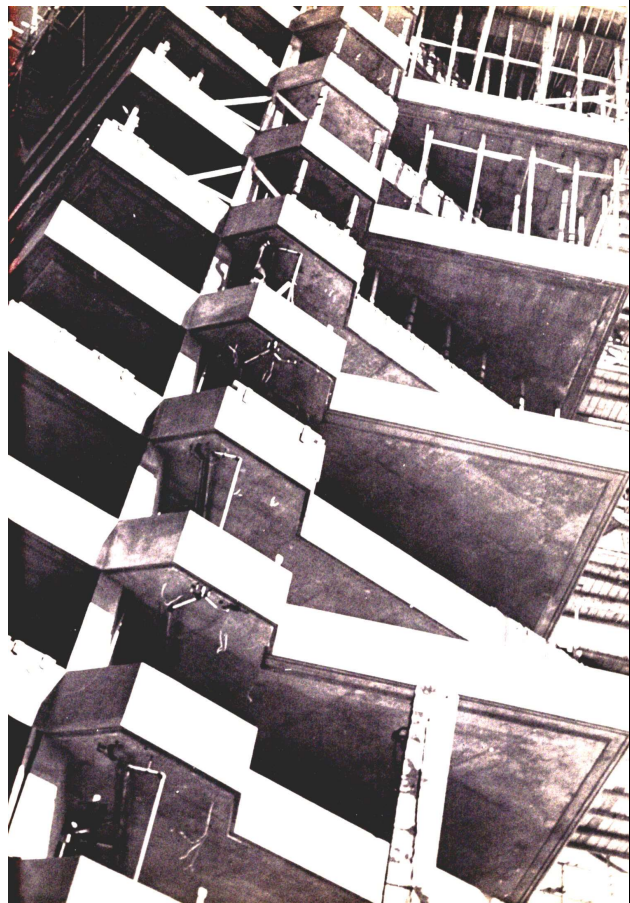
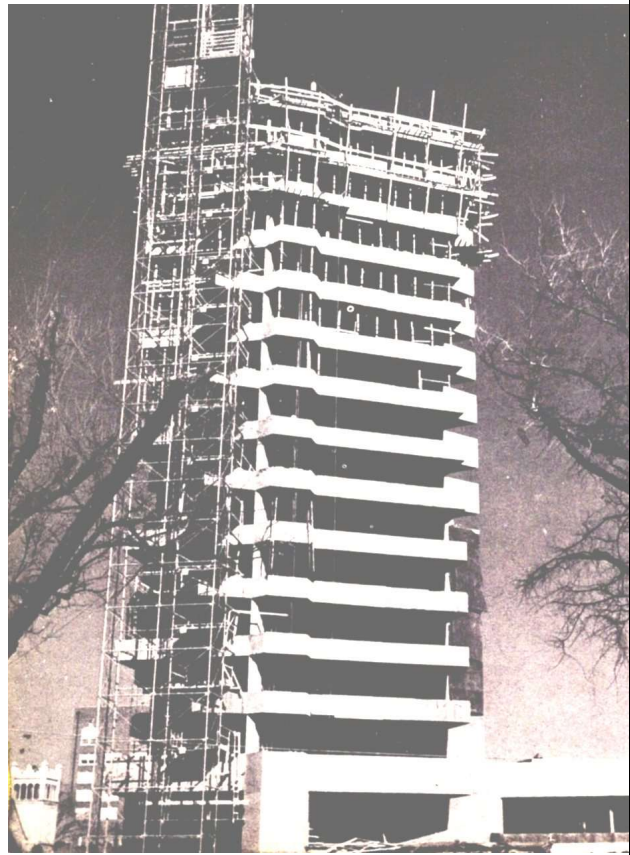


76-77

決定的

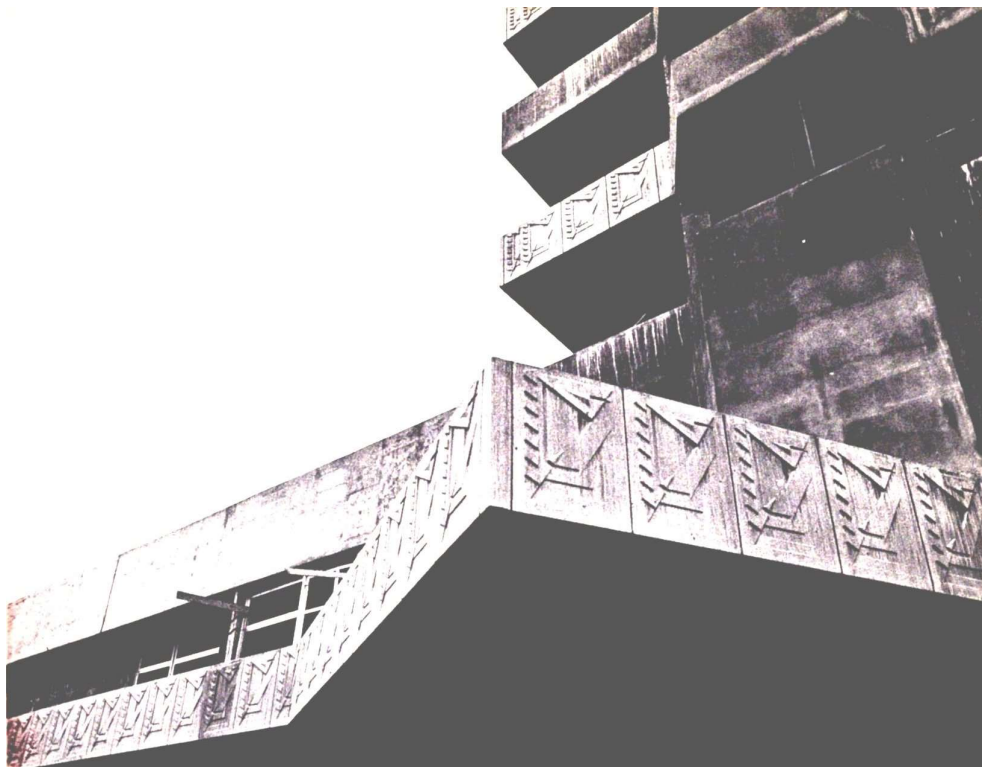
建物の外観が明らかになりました。作業は16階まで進みます。南側から見るとオフィス区画が、左側の足場の後ろの部分から住居区画が始まります。

西側から見ると、階の交差が見られます。この写真では左側にオフィス区画があり、小さな突出部分にはオフィス用のトイレとクローゼットが設置されます。右側には、デュプレックスアパートメントが入居する建物区画があります。各デュプレックスアパートメントの下階はメインの居住フロアです。上階は寝室のメザニンで、この写真では交互に後方に傾斜したパラペットとして見えます。各アパートメントの階はそれぞれ1つのオフィスフロアに対応しています。建物はガラスで覆われ、メインフロアから次の階まで伸びます。寝室のメザニンはガラス張りを突き抜け、屋外バルコニーとして利用されています



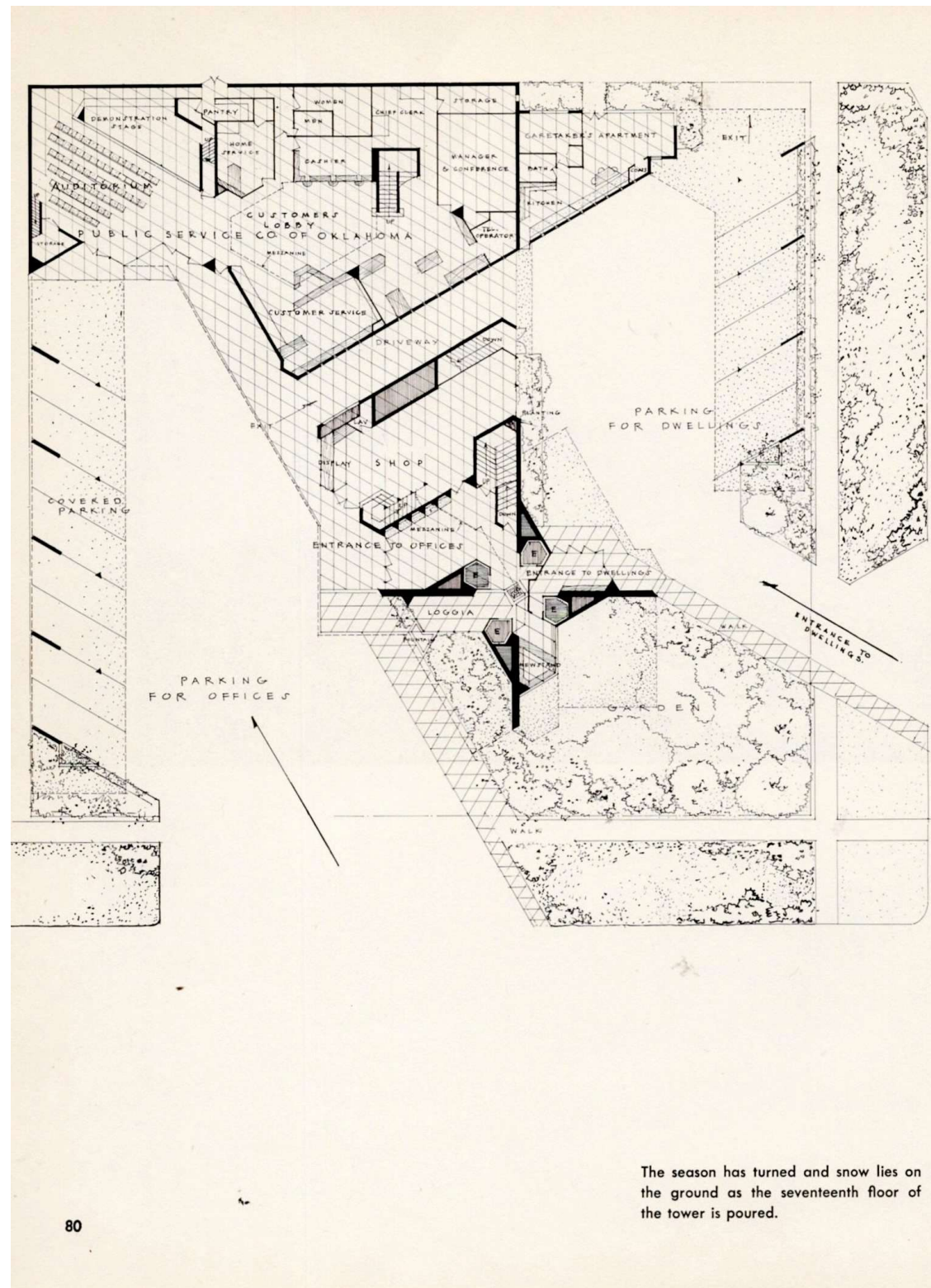


作業がタワーの上層階に移るにつれ、ホイストタワーブームが拡張されたスチールメッシュ補強材の束を持ち上げます



植栽により、オフィス棟に通じるロビーへのメインエントランスに張り出した銅張りのパラペットが完成します。

このエントランスはタワーの北側にあり、屋根付き駐車場とは車道で隔てられています。



The season has turned and snow lies on the ground as the seventeenth floor of the tower is poured.